

新生会看護部通信

2008.7.1 発行 第19号

2008年度のキーワードは「ワーク・ライフ・バランス」「成長から成熟」「看護の醍醐味」をあげました。特に今年は看護の醍醐味として「看護の実践知の発揮」に力を入れていきます。当看護部は中堅ナース・ベテランナースが多く、その人達のもっている力を発揮してもらえよう体制にしたいと考えています。正木は看護の実践知を「看護師は固有の場と時間をともにしながら対象に関わることを通して、多様な実践上の問題を体験し、それらに対処するための能力を獲得していく」と述べています。看護師同士が、看護の実践知を伝え、学びあうことで「共同体験」の場「語り合い」から「気づき」を生み、透析看護の醍醐味を味わうことができます。中堅・ベテランナース達の経験・知恵を、多くのナース達で共有し、看護を深めていってほしいものです。
【看護部長 岡山ミサ子】

主任研修

2008年度 新生会看護部の目標を考える

2008年2月にスタートした主任研修は、看護部の目標を立てるための基礎となるSWOT分析から始まり、BSC・戦略マップと学びを重ねながら、2008年6月まで4回にわたり開催されました。最終回では、各グループで作成した戦略マップを発表し、賑やかに意見交換が行われました。その後、2008年度新生会看護部の重点目標と全部署の力の入った重点目標が発表され、研修の幕を閉じました。以下に、一部ではありますが、主任達の感想・意見を入れさせていただくことで、今回の研修の評価とさせていただきます。ありがとうございました。
【鳴海クリニック 師長 千葉志津子】



BSCの戦略マップなど学んだが、まだまだ学習が必要だと思う。
(スタッフに説明できるようにするためには)

他部署の主任さん達と協力し合って、学びあうことができた。

今まで看護部の目標は師長からおきてきて、それに乗っかるという感じであったが、今回の研修を通して、目標達成に参画しているという意識が高まった。

スタッフにも簡単でよいので、なぜこういう目標かということを知ってもらえる機会があればと思いました。

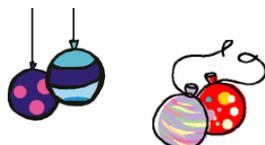
主任たちの声

リーダー達への説明と協力が不可欠と実感した。

各部署の問題や状況が分かり、新生会看護部全体が見える学習会でした。

他施設との交流で、見えないところが見えるので年1回は開催してほしい

目標を立てる責任の重さを知りました。





災害看護シリーズⅠ



災害はいつ起こるかわかりません。これから起こる災害に備えて、医療従事者がどの様に行動し、何を考えるべきかを災害看護シリーズⅠ～Ⅴの中で連載いたします。今回は、災害支援ナースで活躍中の宮島さんに「災害看護とは」を紹介していただきます。
【東海クリニック 横内雄子】

災害看護とは？

【鳴海クリニック 宮島 恵】

「災害時に看護に携わる者が、知識や技術を駆使し、他の専門分野の人々と協力し、生命や健康生活への被害を少なくする為の活動を展開する」と定義されています。

災害は瞬時に多くの人々の命を奪うだけでなく、生活・経済・健康など長期間にわたり様々な弊害を残します。又、災害による外傷や感染症・慢性疾患の悪化・心理的ストレス等が発生し、看護師として臨機応変な対応が求められます。

災害支援ナースとは？

災害という特殊な状況を踏まえたうえで創意工夫しながら適切なケアを提供しなければなりません。愛知県看護協会は被災施設からの要請内容に対し、適切な人を選定し依頼します。また、災害支援ナースは看護活動支援を柔軟に行う自己完結型ボランティアナースともいえます。

災害支援日数は3日間と限られていますが、長期化が予想されれば期間延長となる場合もあります。1995年1月17日の阪神淡路大震災後、災害に対する専門看護師の必要性が高まり、各都道府県看護協会で「災害支援ナース」の育成が始まりました。愛知県看護協会では施設登録者196名、個人登録者14名(平成19年10月現在)がいます。【ちなみに私は2年前から災害発生時急性期透析支援ナースとして登録しています。】登録資格は各都道府県看護協会ホームページをご覧ください。

「主任が心動かされた本」の紹介



【東海・知多クリニック 永尾洋子】

初回は、主任全員にスタッフへおすすめしたい本(題名:著者:出版社)を一覧で紹介します。良い本との出会いは、心を豊かにし、客観的に自己を振り返る事が出来、仕事や生活に活力を与えてくれると思います。仕事や対人関係などで息詰まったとき手にした本や、新たな発見、気づきを与えてくれた本について、本の内容や読んだきっかけ、おすすめの理由などを次回号より本の写真を添えてスタッフのみなさんへ紹介していきたいと思っています。

本のタイトル	著者名	出版社	氏名(部署)
看護現場学への招待	陣田 泰子	医学書院	山内(金山)
残り火のいのち在宅看護 11年の記録	藤原 瑠美	集英社	伊井(金山)
いつも笑顔で	宇佐美百合子	PHP研究会	久保田(金山)
きょう一日を	寺本 松野	日本看護協会	平嶋(金山)
コミュニケーション 100の法則	伊藤 守	厚徳社	早川幸(鳴海)
自分を磨く方法	アレクサンダー・ロックハート著 弓場 隆(訳)	ディスカバー・トゥエンティワン	早川知(鳴海)
道は開ける	D・カーネギー	創元社	関川(鳴海)
「逃げ出したい」自分を救う本	斉藤 茂太	KKベストセラー	横内(東海)
のはらうたⅠ・Ⅱ	くどうなおことのはらみんな	童話屋	中尾(東海)
ガラスのうさぎ	高木 敏子	フォア文庫	永尾(知多)
葉っぱのフレディのいのちの旅	レオ・バスカーリア(作) みらいなな(訳)	童話屋	緒方(十全)
看護覚え書	フロレンス・ナイチンゲール(作) 湯楨ます他(訳)	日本看護協会	今福(2F)
わたくしを磨く仕事の作法	海原 純子	成美堂	佐久間(外来)
あなたに奇跡が舞い降りる50の方法	原田 真裕美	PHP研究所	西谷(浄化)
人びとの中の私	曾野 綾子	集英社	井上(3F)

セルフケア教育(中級編)に参加して

だいごみ
看護の醍醐味シリーズ5

今回、セルフケア教育(中級編)に参加された2名の看護師に、「事例を通して患者から学んだこと」「指導者やスタッフの意見から学んだこと」について質問し、学びを通しての「看護の醍醐味」を紹介します。
【東海・知多クリニック 永尾洋子】

「事例を通して患者から学んだこと」 東海クリニック 小島範子

私は、セルフケア中級編に参加して、自分の支援方法を振り返り多くの気づきを得ました。難聴のある高齢者に、情報収集を試みましたが、内容が十分伝わらず思うようにコミュニケーションが取れませんでした。患者の話に傾聴し、患者の反応を見ながら関わったことで、「困った患者」「できない患者」と捉えていましたが、関わっていくうちに「こんなにできるところがある患者」「自己決定能力のある人」と、プラスで捉えることができるようになり、私の認識が変化しました。そして患者が、自己決定していくプロセスを見守ること、患者自身が選択するまで忍耐強く待つ姿勢が大切であることを、今回の事例を通じて学ぶことができました。

「セルフケア教育(中級編)に参加して学んだ事」

新生会第一病院 3階病棟 福 智江

透析導入期の事例を通して、喪失体験を繰り返し、不確かな未来に直面して不安が大きい患者には、まず患者の感情や考えを聴き、マズローの欲求段階説の生理的欲求・安全の欲求を充足する援助を優先させ関わる事、教育は患者が興味を示し受け止めやすい物から始める事で、「患者の行動変化を促す事に繋がる」と分かりました。また、入院しているから「治療に協力する・教育を受ける・自己管理をする」のは当然だ、という風に思いがちでした。しかし、患者の感情を無視して関わっても行動変化には繋がらないし、自尊心を低下させるだけなので自分自身も変わらなければいけないと思いました。また、指導者やスタッフからの意見は、違った視点で患者の状態や変化を知る事ができ、とても勉強になりました。有難うございました



いきいきナース

仕事と生活を上手く調整し、透析室でいきいきと仕事をされている
高田 薫さん(十全クリニック パート勤務)にインタビューしました。

【十全クリニック 主任 緒方幸代】

Q1. 仕事をしていく上で家族の協力や努力していることは?

仕事を始めてから、夫や祖父母がいろいろな面で、サポートしてくれるようになりました。子供も洗濯物をたたむなどお手伝いをしてくれます。家事を効率よく行うことで、子供との時間を作るよう努力しています。

Q2. 仕事を続けられる秘訣とストレス解消法は?

仕事と生活(育児)を両立する為に欠かせないのは、職場の体制だと思います。子供の予定にあわせて休みをもらうことができ、職場に子育てをしている先輩方も多く、子育てについて相談もできます。家族と休みの日に、いろいろな所へ出かけます。



現在の勤務体制は、ワーク・ライフ・バランスを考慮して、9:30~16:00、週3回程程度の勤務をしていただいています。2人の子供を育てながら、いきいきと輝いて仕事をされています。

ワンポイント!! ~ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは??~

勤労者が「仕事」と「生活」のどちらか一方だけでなく、ともに充実感をもてるように双方の調和を図ること。性別・年齢や子育てや家事などの家庭生活に限定することなく、地域活動、趣味、学習などを含めた様々な活動として考えられています。簡単に言うと「よく働き、よく遊べ」ってことですね。



【東海クリニック 中尾幸子】